

## レジメンスケジュール

診療科	呼吸器内科
適応	小細胞肺癌
レジメン	肺CE(CBDCA+VP16)療法

申請・改訂日	2015年7月
備考	1クール3~4週ごと

クール関連	
	下記の通り

使用した臨床データ	
	適正使用ガイド、がん化学療法レジメンハンドブック

全ール																					
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	day21-28		
①		パロノセトロン注	0.75mg	メイン	15分		○												終了		
		デキサメタゾン注	6.6mg				○	○	○												
		生理食塩液	50mL				○	○	○												
②	○	カルボプラチン	AUC5	メイン	60分		○														
		5%ブドウ糖液	250mL																		
③	○	エトポシド	100mg/m <sup>2</sup>	メイン	60分		○	○	○												
		5%ブドウ糖液	500mL																		
④		生理食塩液	50mL	メイン	全開		○	○	○												

エトポシド投与量(腎機能)	
Ccr(mL/min)	投与量
50以上	通常量
15~50	25%減量
15未満	さらに減量必要

エトポシド投与量(肝機能)	
肝機能値	投与量
T-Bil 1.5~3mg/dL	50%減量
AST 3 × ULN超	50%減量
T-Bil 3mg/dL超	中止

# 減量・中止基準

CE療法

## 併用療法の主な休薬・減量・中止基準

副作用	条件	カルボプラチン <sup>注1)</sup>	イトボシド <sup>注1)</sup>
血液毒性 <sup>注2)</sup>	好中球数<500/ $\mu$ Lかつ 血小板数 $\geq$ 50,000/ $\mu$ L	前回用量の75%	前回用量の75%
	好中球数<1,000/ $\mu$ Lかつ 38.5℃以上の発熱		
	血小板数<25,000/ $\mu$ L	前回用量の50%	前回用量の50%
血小板数<50,000/ $\mu$ Lかつ Grade 2以上の出血			
腎機能障害	クレアチンクリアランス >50mL/min	規定なし	用量変更なし
	クレアチンクリアランス 15-50mL/min		元の用量の75%
下痢	Grade 3、4(止瀉薬使用下) 又は入院を要する場合	前回用量の75%	規定なし
悪心/嘔吐	Grade 3、4 (制吐薬使用下)	前回用量の75%	規定なし
神経毒性	Grade 2	前回用量の75%	規定なし
	Grade 3、4	前回用量の50% 又は中止	規定なし
トランスアミナーゼ上昇	Grade 3	前回用量の75%	規定なし
	Grade 4	中止	規定なし
他の非血液毒性	Grade 3、4	前回用量の75%	規定なし

注1) 一度減量した場合、用量を100%に増量することはできない。2回の減量後にGrade 3又は4の毒性が発現した場合、もしくは毒性のために63日間を越えて投与を延期した場合は投与を中止すること。非血液毒性が発現した場合、ベースライン値以下(又はGrade 1以下)に回復するまで、最長63日間休薬すること。

注2) 各サイクル開始時点で好中球数が1,500/ $\mu$ L以上かつ血小板数が100,000/ $\mu$ L以上に回復するまで、最長63日間休薬すること。